

9月11日曜日に開催されました「エナ魂 2016in 春日部」ですが、今にも降り出しそうな曇天の中 220名を超える選手の参加で熱い戦いを繰り広げてくれました。

予選はまずミドルクラスからで1階2階の計10エリア10課題を80分で全完を目指します。また、予選は完登数、フラッシュ数、ボーナス数で順位付けがされるため失敗が許されない厳しい戦いとなります。

ミドルクラスの課題グレードは5級から2級までと難しい課題もあったのですが開始50分過ぎくらいから全完する選手が次々と現れ、12名が進める準決勝へは全完したうえでのフラッシュ数勝負となり、全てフラッシュした前田選手から10完登7フラッシュの選手まで14名(8位タイまで)が準決勝へと進み10完6フラッシュ以下の選手は惜しくも予選落ちとなりました。

全完への最大の難課題は2階垂壁の19番の3級で完登率35%、フラッシュ率は6%でした。

続いての予選はマスタークラスとエントリークラスで、こちらも予選課題は80分で10課題です。

エントリークラスの予選課題は7級から3級までと幅広い設定でしたがこのクラスも予選時間の半分くらいから全完する選手が現れ、またもやフラッシュ数勝負となり、全てフラッシュした伊藤選手、平田選手、高橋選手と10完9フラッシュ！？以上の選手10名(4位タイまで)が決勝進出(エントリーは準決勝無し)となりました。

マスタークラスの予選課題は3級から初段と厳しめの設定ですがさすがに早々と全完者が出る展開とはならず、最終的には9完8フラッシュ10ボーナスの小林選手が1位通過で、7完5フラッシュ8ボーナス以上の選手12名が準決勝進出となりました。

予選の3ラウンド目はいよいよ登場のオープンクラスと今回新設したスーパーミドルクラスで、同じく予選課題は80分で10課題です。

スーパーミドルクラスの予選課題は4級から1級までの設定でしたが奥壁左12番1級は意外と登りやすかったみたいで完登者が50名中19名、2級設定の2階クチバシ右の17番が完登者12名、フラッシュ2名と最難でした。ちなみに両課題ともセッターはワールド波田悠貴でした！

スーパーミドル予選1位通過は10完9フラッシュの小林隼大選手で、9完9フラッシュ以上の選手13名(11位タイまで)が準決勝行きとなりました。

オープンクラスは2級(しかも3本とも垂壁のいやらしい系)から予選最難(というかエナ魂2016全課題中の最難)の二段までの設定です。そんな中9完8フラッシュ10ボーナスの佐々木選手がトップで予選を通過し、以下5完5フラッシュの選手まで12名が準決勝進出となりました。

ここからは1階と2階が別々の進行となり、2階ではミドル・スーパーミドル・マスター・オープンクラスの準決勝が始まり、1階ではジュニアクラス(中学生)とキッズクラス(小学生)の予選が行われます。

ジュニア・キッズの予選は1階の6エリアに12課題です。

ジュニアクラスの課題は6級から2級までの設定でしたが、張替選手がオープンクラスでもフラッシュに失敗した選手がいる垂壁2級の2番を含めて12課題すべてフラッシュして予選を1位で通過、以下9完6フラッシュの選手まで8名が決勝に進出しました。

キッズクラスは7級から3級までの設定でしたが、大人のクラスと共通課題のマントル3級13番を含めて全12課題をすべてフラッシュした安楽選手が予選1位、以下11完10フラッシュの選手まで8名が決勝進出となりました。

ミドル・スーパーミドル・マスター・オープンクラスの準決勝は3課題のベルトコンベア方式で1課題の時間が4分です。課題はスラブ→太鼓(ルーフ状から湾曲したハング越え)→115度の順番です。

ミドルクラスの第一課題(スラブ)はスーパーミドルクラスと共通の課題で下部の足送りとゴール取りが悪い課題です。この課題を緩傾斜が得意な予選1位前田選手、ホームエナジー春日部の菊川選手、エナジー全店パスの野口選手が2撃で完登、エナジーのスラブに馴れている選手たちが一歩リードします。第二課題(太鼓)はルーフの巨大ガバフレックから甘いピンチと玉ホールドを取りに行くパワフルな課題でスラブを苦手とした選手たちが生き生きと登り、パワー系が苦手な選手は苦勞させられていました。第三課題(115度)は出だしの凹角からカンテをまたぐあたりが若干わかりづらいものの後半は素直な保持系の準決勝中最もやさしい課題で14名中12名がフラッシュしました。

準決勝は5名が3課題とも完登でしたがアテンプトの差で3完登4撃の野口選手が1位通過、3完登8撃の渡邊選手までが決勝進出となりました。

スーパーミドルクラスの第一課題(スラブ)はミドルクラスと同じ課題です。さすがに上のクラスだけあって5名がフラッシュ、13名中10名が完登しました。第二課題(太鼓)は一転してマスタークラスとの共通課題でルーフを抜けるのに手が先か足が先かが悩ましく、またゴール前のカチが悪くてゴールも持ちづらい課題です。そんな課題をまたまた5名がフラッシュし2課題ともフラッシュした沢村選手が一歩リード、そのほか6名が2課題とも完登とアテンプト勝負の様相です。第三課題(115度)はバランスシーな下部からカチ系の距離出し&保持系の課題で4名フラッシュ8名完登で3課題を全完了した4名の選手が決勝に進出しました。

マスタークラスの第一課題(スラブ)はオープンクラスとの共通課題でスリッピいな木ハリボテの足の処理がカギとなる課題でボーナスに届いたかと思った瞬間に足が滑るいやらしい課題です。しかしそんな恐ろしい課題を予選 1 位の小林選手とエナジー吉祥寺店イケメンスタッフの島選手がなんとフラッシュ！3 撃の山口選手と 4 撃の柴田選手が続きます。第二課題(太鼓)はスーパーミドルクラスとの共通課題、さすがにやさしかったのか 9 名がフラッシュしました。第三課題(115 度)は薄被りの面の壁らしい保持・悪い足・距離出しの強度の高い課題、ここを小林選手と山田選手がフラッシュし、結果 3 完の 3 名と 2 完 2 撃の山田選手が決勝進出となりました。

オープンクラスの第一課題(スラブ)はマスタークラスとの共通課題のスリッピいなボテ課題。さすがにオープンクラスはこの課題を 7 名完登、3 名フラッシュで第二課題へと続きます。第二課題(太鼓)はゴール前の巨大な輪っか状のスローパー(ボーナス)から遠いゴールがなかなか届かない課題。ボーナスまでは 1~2 トライで到達する選手が多かったのですがなかなか完登が出ずお通夜かと思われましたが予選 2 位の尾崎選手が見事に完登を決めてくれました！第三課題(115 度)はスタート直後の手に足がなかなか上がらない悪い課題でなんと 3 名の選手が完登しました。オープンクラスは準決勝唯一全完の尾崎選手から 1 完 1 撃 2 ボーナス 2 撃の石山選手までが決勝進出となりました。

エントリー・ジュニア・キッズの決勝は 3 クラス合同で 4 エリア 4 課題をセッション形式で行いました。時間は 4 5 分で課題はクラスごとに違う課題となります(一部共通)。また、完登とボーナスのアテンプトをカウントするので 1 トライ 1 トライが大事になります。

キッズクラスは3級2本、2級2本の設定でしたが、上位の選手にはやさしすぎたのか2名の選手が早々とすべてフラッシュ、5名が全完しました。4巻4撃が安楽選手と沢村修士選手の2名でしたが予選成績のカウントバックで安楽選手が予選と決勝オールフラッシュの優勝でした！



キッズクラス表彰式

ジュニアクラスの決勝課題は2級が4本の設定でしたが、予選1位の張替選手がそのうち3本をフラッシュ、最後の1本は登れませんでした。全完の選手は出ず優勝となりました！



ジュニアクラス表彰式

エントリークラスの決勝課題は3級2本、2級2本の構成で2級は2本ともジュニアクラスとの共通課題です。エントリークラスの決勝はスラブの3級のアテンプトがカギとなりフラッシュの伊藤選手が優勝となりました！



エントリークラス表彰式

ミドル・スーパーミドル・マスター・オープンの決勝は2階で2課題をオンサイトトライで一人ずつ行います。

ミドルクラスの第一課題は垂壁系多面体のSUN中央。スタートが少しリスクィでその後は浅い凹角をうまく使っていく課題で3名フラッシュ1名2撃、勝負は135度の第二課題に。第二課題は強傾斜を少しかかりの悪いホールドを我慢して使っていき課題でボーナス前に一核心とゴール取りがよれていると悪くなる課題でしたが第一課題を2撃で出遅れた渡邊選手が1撃、小柄ながら頑張った田宮選手が3撃、あとの2選手はボーナス止まりで渡邊選手が優勝しました！



ミドルクラス表彰式

スーパーミドルの第一課題は135度でスローパーとファットピンチでぐいぐい登っていく課題です。すこし強度が強いかと思いましたが3選手がフラッシュと快調な出だしでした。第二課題はSUN中央で緩傾斜ながらプッシュ、フックを交えたパワフルな課題。この課題を宮崎選手と沢村選手が3撃、岩本選手と星選手が4撃、第一課題を沢村選手が登っていないため宮崎選手の優勝となりました！



スーパーミドルクラス表彰式



マスタークラスの決勝第一課題は SUN 中央。大きなスローパーのマッチから極小ホールドが続く課題でボーナス先のツブ足が悪く山田選手がゴールタッチまでいったものの完登者は出ず第二課題へと進みます。第二課題は135度でガスカチ地帯を過ぎたら遠いスローパーを豪快に取りに行く課題で柴田選手が非常にスムーズに1撃、他の選手はボーナスまでは行くもゴールまで到達できず柴田選手が唯一の完登で優勝となりました！



マスタークラス表彰式

オープンクラスの決勝第一課題は135度。足が切れると耐えられないフラットのホールドからカチ〜ピンチと繋いで最後はスローパーから豪快なゴール取りの課題。この課題を今泉選手が2撃し、佐々木選手が5撃で続きます。第二課題はSUN中央で横っ飛びダイノから始まりデカピンチで乗り込みながら遠いホールドを押さえに行き最後はこれまた豪快に飛びつく課題。この課題は佐々木選手が一撃しましたが今泉選手も3撃で登り僅差で今泉選手の優勝となりました！



オープンクラス表彰式



表彰式風景

各クラスの決勝も大勢の方が観戦してくれて非常に盛り上がった大会となりました。

ご協賛いただきました、株式会社キャラバン様、株式会社サンダンスアウトドアーズ様、株式会社ロストアロー様、日清シスコ株式会社様ありがとうございました！